

平成 28 年度「学校教育自己診断」の集計結果について

今年度の調査結果を昨年度と比較すると、生徒からの回答において、肯定的な回答がやや減少したことが伺えるものの、質問項目が現在の内容に改定された平成 26 年度からの 3 年間の概観すると大きな変化は見られず、全体としては概ね良好な結果であった。

個々の質問項目では、「本校の授業には、プロジェクター等の視聴覚機器やコンピューター等の電子機器が積極的に取り入れられている。」(87%→90%)と上昇しており、教員が積極的に ICT などを取り入れて授業改善を図っていると考えられる。また、「本校の記念祭をはじめとする学校行事やSSH・GLHSとして設定されている活動は、充実している」(85%)、「本校の教職員は、授業や学校行事をはじめとした教育活動に熱心に取り組んでいる」(83%)などは、例年通り、高い満足度を示しており、本校が特色を持った教育活動を行っていることが伝わっていると考えられる。一方で、「本校では、校風・校是「自由と創造」「日新日進」を踏まえた、高津高校らしい授業や教育活動が行われている」(75%→67%)、「本校の自治会活動は活発で充実しており、活動時間や活動内容は適切である」(68%→62%)の他、部活動との両立や自治会活動への参加などが、肯定的意見が少ない項目であり、生徒の自主的活動が、受け身になってきているのではないかとと思われる。

保護者アンケートにおいても、同様の傾向は見取れるが、「本校の記念祭をはじめとする学校行事や、SSH・GLHSとして設定されている活動は充実している」(90%→92%)は、非常に高い値を示しており、本校の特色ある教育活動は、理解されていると考えられる。「学校は、教育方針を分かりやすく保護者に伝えており、共感できる」(84%)、「本校の教職員は、授業や学校行事をはじめとした教育活動に熱心に取り組んでいる」(88%)の他、生活指導、人権教育、進路指導などに関わる項目で、高い満足度をいただくことができた。結果として、「自分の子どもを高津高校に入学させてよかった」(90%)において高い評価をいただくことができた。

一方、「本校の教室・廊下・トイレ等の環境は、学習の場にふさわしく清潔に保たれている。」は、以前より課題として挙げられており、引き続き環境整備に取り組んでいく必要を感じさせられた。

その他にも自由記述欄には、多くのご意見を記入していただいております。内容について検証しながら、生徒・保護者のご意見として真摯に受け止め、改善していく所存である。